

各企業等の社会貢献

ブライントサッカー楽しい!

清水建設が協賛

障がい者スポーツ体験会in札幌

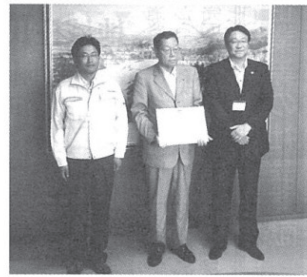
清水建設(株)東京、井上和幸建設が協賛する「楽しいブライントサッカー」障がい者スポーツ体験会in札幌が七月三十日、札幌市美香保体育館で開かれた。小学生から大人まで約九十人が障がい者スポーツの楽しさを味わい、ノーマライゼーションへの理解を深めた。主催はNPO法人STAND(東京、伊藤数字代表理事)。障がい者スポーツの振興とノーマライゼーションの促進を図るなど当初は都内で行っていたが、理念に共感した清水建設が三年前から協賛。以来、大阪、新潟など全国各地で広く事業を展開している。



清水建設(株)東京、井上和幸建設が協賛する「楽しいブライントサッカー」障がい者スポーツ体験会in札幌が七月三十日、札幌市美香保体育館で開かれた。小学生から大人まで約九十人が障がい者スポーツの楽しさを味わい、ノーマライゼーションへの理解を深めた。主催はNPO法人STAND(東京、伊藤数字代表理事)。障がい者スポーツの振興とノーマライゼーションの促進を図るなど当初は都内で行っていたが、理念に共感した清水建設が三年前から協賛。以来、大阪、新潟など全国各地で広く事業を展開している。

道路側溝補修の中山組に

美唄市が感謝状贈る



【岩沢状】中山組(札幌)中山茂社長が地域貢献の一環として美唄市で行った道路排水施設のコンクリート側溝の劣化部補修に対して七月十九日、美唄市が三人が道路の側溝約三十...

創成川で清掃奉仕活動 北央道路工業 取組の効果実感 北央道路工業(株)札幌支店が七月三十日、札幌市内中心部を流れる創成川で清掃奉仕活動を実施した。社員約二十人が参加。水際の草むらや川底のゴミを拾い集め、環境美化に努めた。清掃活動は同社が力を入れる地域貢献活動の一環。創成川では毎年この時期、感謝状が贈られた。写真。同社は、札幌開港発注の「美唄地区西美唄8区画画整理工事」を施工しており、伊藤大輔現場代理人が「一事に協力していただいている地域の皆さんのためへの思いから貢献活動」を企画。作業は、美唄市市道の元村西一丁目線沿いで七月五日から三日間実施。作業員三人が道路の側溝約三十...



支店長は「障がい者スポーツにふれ、楽しむことで、障がいのある人もない人も一緒に生き生きと過ごせる社会をつくってきたい」と話していた。河川内では川底に付着した大きな草や、水際の草むらに隠れたゴミも丹念に拾い集めた。平成二十四年から毎年参加している同社は、札幌営業所の島山一昭所長と、年々、河川環境の改善が進んでいることを実感している。「今後も、こうした活動を続けていきたい」と話している。

南建設が欄干の花を植え替え サルビアなど夏の花に 地域住民らの目を楽しませ



【網走発】色鮮やかな夏の花に。南建設(株)網走、松本俊広社長は、市内を走る国道三九号の網走橋など二橋の欄干に春先に設置した鉢植え約一千基を、夏の花に植え替えた。写真。花に植え替えた「写真」。マリーゴールドやペチュニアなどの花々が欄干を飾り、地域の人たちや観光客の目を楽しませている。場所は、市街地を流れる網走川に架かる網走橋と新橋。無機質な橋を色鮮やかな花で飾る取組は、同社の南正明会長が発案し、こと年、五月に春の花の鉢植えを設置し、七月には夏の花に植え替えている。今回は、職員たちが七月中旬に欄干の鉢植えを夏の花に植え替えた。

一橋の欄干には、春の花に替わって、マリーゴールドやサルビア、ペコニア、ペチュニアなど夏を代表する色鮮やかな花々が咲き誇り、毎年楽しみにしている地域住民も、観光客なども写真を撮るなど足止めにしている。

夏休みの良い思い出に

動物や昆虫など制作



様々な作品を制作。子どもたちは「夏休みの良い思い出になった」と作り上げた作品を手に、満面の笑みを浮かべていた。鹿ノ子ダムが竣工した当初から、網走開建北見川工事事務所発注の流水処...

【網走発】(株)コダイ北見川工事事務所発注の流水処理場(網走)の流水処理場において、散策路清掃・修繕等奉仕活動にも二十年近く取り組んでいる。見入っている。住民も多く、観光客なども写真を撮るなど足止めにしている。

宗谷ふれあい公園で清掃活動 気持ちよく遊んでね!



【稚内発】石塚建設(株)稚内、石塚英資社長は、七月三十日、道立宗谷ふれあい公園の修景池周辺で清掃活動を実施した。写真。修景池につながる流入水路などに汗を流した。宗友会では毎年、学校が夏休みに入り来園者も多く、この時期に清掃活動を行っていた。この日、宗友会のメンバー約二十人が参加した。参加者は高圧洗浄機やブラシを使いながら、流入水路の一年間の汚れを洗浄機で洗い流し、ブラシですこすこで真っ白にした。また、草刈り機や手作業で水路周辺の除草作業も実施。生い茂る雑草を次々と刈り取り、落ちていくゴミも拾って、きれいな環境を整えた。同社の竹井直樹係長は「訪れる人たちが気持ちよく過ごしてもらえれば」と話していた。

9月20日に 現場見学会

旭川農業高志指ぎ 旭川林業土木協会 旭川林業土木協会が九月二十日に高校生を対象とした「森林土木工事現場見学会」を実施する。森林土木分野の担い手確保に向けた取組の一環として行うもので、旭農業高校の生徒四十人を招き、道森林管理局発注の工事現場を見学し、現場見学会のほか、旭川林業土木協会の関係者や質疑応答なども行う。旭川林業土木協会は「この機会を通して森林土木に興味をもち、将来建設業界で活躍してもらいたい」と話している。

た「夏休みの良い思い出になった」と親子で話していた。動物をつくる子どもたちが多かったことしの体験会、石井社長は「今後も続けていきたい」と話している。この日、宗友会のメンバー約二十人が参加した。参加者は高圧洗浄機やブラシを使いながら、流入水路の一年間の汚れを洗浄機で洗い流し、ブラシですこすこで真っ白にした。また、草刈り機や手作業で水路周辺の除草作業も実施。生い茂る雑草を次々と刈り取り、落ちていくゴミも拾って、きれいな環境を整えた。同社の竹井直樹係長は「訪れる人たちが気持ちよく過ごしてもらえれば」と話していた。